

令和2年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	所管部局	水産林務部	作成責任者	水産林務部長 佐藤卓也	施策コード	07 - 02
総合評価	効果的な取組を検討して引き続き推進	照会先	総務課政策調整係 (内線28-163)	関係課	森林整備課、道有林課	政策体系コード	1(3)B

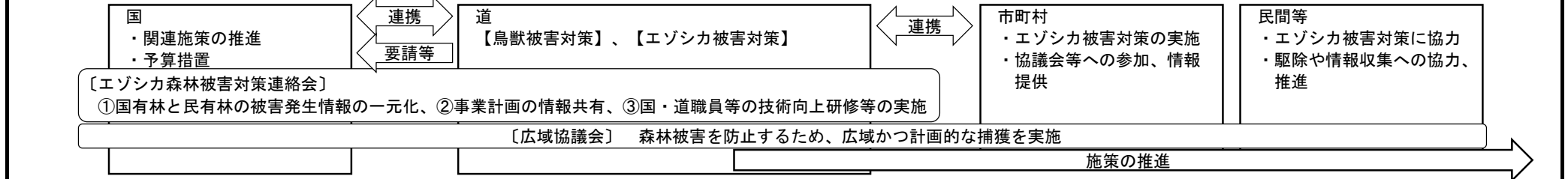
Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定

現状と課題	施策目標	施策の予算額(千円)	
<p>・本道の豊かな自然環境は、優れた観光資源や基幹産業である農林水産業の基盤となっているが、急増したエゾシカなどの野生鳥獣は、農林水産業への被害や人身事故の発生など、大きな脅威となっている。</p> <p>・エゾシカの推定生息数は、緊急対策期間の捕獲対策等により減少に転じ始めているが未だ高い水準にあり、道では「エゾシカ対策推進条例」に基づき、適正な生息水準の早期実現に向けた対策を総合的かつ計画的に推進している。</p> <p>・エゾシカによる森林被害面積は、減少しているものの道内全域で発生しており、未だ高い水準で推移していることから、国有林・民有林等の関係機関が被害対策を一体的に実施することが重要である。</p>	<p>・エゾシカによる森林被害を軽減するため、防除や捕獲などの対策を加速化させるとともに、国有林と民有林が連携し効果的な森林被害対策に取り組む。</p>	H30	32,106
		R1	30,354
		R2	30,464

項目	政策体系	国の役割・取組等	道の役割・取組等	市町村の役割・取組等	民間等の役割・取組等
【鳥獣被害対策】 【エゾシカ被害対策】	1(3)B	道や市町村、関係団体と連携し、関連施策を推進	国や市町村、関係団体と連携し、関連施策を着実に推進	関係団体等と連携し、取組を推進	道や市町村と連携し取組を積極的に推進

施策のイメージ



令和2年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07 - 02
-----	---------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

今年度の取組

1-2 取組の結果

政策体系及び関連計画等	今年度の取組	実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響等	道民ニーズを踏まえた対応
1(3)B 【強靱化】 B6212 【公約】 C0142	<p>【鳥獣被害対策】</p> <p>◎補助事業等を活用し、被害防除対策(忌避剤散布、侵入防止柵設置等)や捕獲対策(銃猟捕獲、ワナ捕獲)を実施する。</p>	<p>【鳥獣被害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> エゾシカによる森林被害の軽減に向け、市町村や森林組合等が実施する捕獲対策や防除対策への支援を実施した。 <p>(令和元年度実績: 囲いワナ捕獲42頭、忌避剤散布25ha、侵入防止柵設置82km)</p>	
1(3)B 【強靱化】 B6212 【公約】 C0142	<p>【エゾシカ被害対策】</p> <p>◎森林被害の防止及び北海道エゾシカ管理計画(第5期)、令和2年度エゾシカ捕獲推進プランにおける管理目標を実現するため、国や道、市町村等と連携した取組や鳥獣保護区等における捕獲事業を実施する。</p> <p>◎効果的な被害対策を進めるため、国有林・試験研究機関による「エゾシカ森林被害対策連絡会」を通じて、①国有林と民有林の被害発生情報の一元化、②事業計画の情報共有、③国・道職員の技術向上研修等を実施する。</p> <p>◎道有林において、関係機関と連携した効果的なエゾシカ捕獲のための林道除雪や管理型捕獲(モバイルカリング)等を行う。</p> <p>◎釧路地域(釧路市、白糠町)において、市町村、森林組合、森林管理署、森林室等で構成される広域協議会により、広域かつ計画的な捕獲を実施する。</p>	<p>【エゾシカ被害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路地域において、関係機関で構成される広域協議会を開催し、広域かつ計画的な捕獲を実施した。 <p>(令和元年度実績: 釧路地域における囲いワナによる捕獲12頭)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの取組により、民有林における森林被害面積は減少した(H30年度1,908ha⇒R1年度1,333ha) 道有林におけるエゾシカ被害対策(令和元年度実績) 林道除雪実延長: 150km 管理型捕獲(モバイルカリング): 24頭 囲いワナによる捕獲: 5頭 	<p>宗谷、上川、十勝、根室などの期成会からエゾシカなど野生鳥獣被害防止について要望を受けており、これらの意見を参考に対策の実施を行うとともに、必要な予算確保について農林水産省などへ要望を行った(令和2年7月)。</p>

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

連携種別 (政策体系)	連携内容	連携先		取組の実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響
		施策コード	関係部・関係課	
施策・部局 1(3)B	鳥獣被害対策チームでは、関係各部の鳥獣被害防止対策に係る情報・意見交換に加え、構成員が連携して現地での被害実態調査や道民への情報発信を行うなど、総合的な鳥獣被害対策を推進する。	0302	環境生活部環境局自然環境課	・R1.11月に農・林業被害など情報共有のための関係者会議を開催するとともに、農業被害が大きい地域における現地視察やその振興局管内関係者に対する情報提供を行った。また、狩猟を促進するために必要な道有林内の林道除雪をするなど、環境生活部、農政部と連携して対策を推進した。
		0606	農政部生産振興局技術普及課	
施策・部局 1(3)B	エゾシカ緊急対策本部は、エゾシカの増加を抑制し、深刻な被害を緊急に軽減させる対策を総合的に推進する。 森林被害の防止及び北海道エゾシカ管理計画(第5期)、令和2年度捕獲推進プランに基づき管理目標を実現するため、国や道、市町村等と連携したエゾシカ対策の取組や林道除雪などの捕獲環境の整備を実施する。	0302	環境生活部環境局自然環境課	・各種施策を総合的に推進するため、庁内関係各部が参画する会議により、農林業被害状況や新たなエゾシカ管理計画の内容を共有するとともに、今後の捕獲目標や目標達成のための方策について協議・情報交換を行った。

令和2年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07 - 02
-----	---------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

(H:平成、R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか
		基準年度	H5	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	D	D	D	
	エゾシカ個体数指数(東部地域)	基準年度	H5	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	D	D	D	H23年度には過去最高に達したが、以降は目標に向けて減少している。 ※達成率の算式による基準値は、計画策定時(H24)における個体数指数(東部156)を用いる。 【内的要因】 【外的要因】 ・H30狩猟事故発生に伴う国有林・道有林における入林規制強化(～R1) ・R1の暖冬少雪 ・新型コロナウイルスの影響によるR2上期の一斉捕獲実施市町村の減
		基準値	100	目標値	114	最終目標値	50以下	年度	R1	R2	進捗率	
【指標の説明】 基準年の値を100とし、毎年実施する各種調査から得られた結果を基に、東部地域におけるエゾシカの生息動向を相対値で表したもの。 【アウトカム指標】 北海道総合計画や北海道エゾシカ管理計画に基づき、道内のエゾシカ個体数指数を指標として設定(環境生活部において設定)		根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	82	71	50	
		北海道総合計画 北海道エゾシカ管理計画(第5期)		1(3)B	減少	((基準値-実績値)÷(基準値-目標値))×100		実績値	128	-	128	
								達成率	37.7%	-	39.1%	

37.84

主②	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか
		基準年度	H12	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	D	D	D	
	エゾシカ個体数指数(西部地域)	基準年度	H12	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	D	D	D	H23年度には過去最高に達し、目標に向けて減少傾向が見られたものの、H28から再び増加した可能性があり、目標達成に遅れが見られる。 ※達成率の算式による基準値は、計画策定時(H24)における個体数指数(西部276)を用いる。 【内的要因】 【外的要因】 ・H30狩猟事故発生に伴う国有林・道有林における入林規制強化(～R1) ・R1の暖冬少雪 ・新型コロナウイルスの影響によるR2上期の一斉捕獲実施市町村の減
		基準値	100	目標値	248	最終目標値	150以下	年度	R1	R2	進捗率	
【指標の説明】 基準年の値を100とし、毎年実施する各種調査から得られた結果を基に、西部地域におけるエゾシカの生息動向を相対値で表したもの。 【アウトカム指標】 北海道総合計画や北海道エゾシカ管理計画に基づき、道内のエゾシカ個体数指数を指標として設定(環境生活部において設定)		根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	188	175	150	
		北海道総合計画 北海道エゾシカ管理計画(第5期)		1(3)B	減少	((基準値-実績値)÷(基準値-目標値))×100		実績値	257	-	257	
								達成率	21.5%	-	58.4%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由

● 達成度合について

達成度合	A	B	C	D	-
直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和2年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07	—	02
-----	---------------	-------	----	---	----

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの繰越事業費(千円)	令和2年度					フルコスト(千円)
						事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			
						本庁	出先機関	人工計			
0822	1(3)B	エゾシカ森林被害防止強化対策事業費	エゾシカを誘引する誘き寄せ資材を活用した捕獲効率の向上など、エゾシカ個体数及び農林業被害の軽減に係る事務	森林整備課	0	7,256	0	0.6	0.1	0.7	12,800
0823	1(3)B	エゾシカによる森林被害の把握	エゾシカの森林被害実態を的確に把握するための森林被害等調査実施要領の作成等に関する事務	森林整備課	0	0	0	0.3	0.1	0.4	3,168
1125	1(3)B	道有林エゾシカ緊急対策事業費	エゾシカ捕獲を促進するための林道除雪等の実施	道有林課		23,208	23,208	0.3	1.3	1.6	35,880
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
計						0	30,464	23,208	1.2	1.5	2.7

令和2年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07 - 02
-----	---------------	-------	---------

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A	B	C	D	-		
	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可		
1(3)B				2		D指標あり	<エゾシカ個体数指数[D]> ・生息数の減少や継続的な捕獲圧により捕獲効率が低下し、減少の速度は鈍化しているが、国の事業を活用し、被害防除対策や捕獲対策の取組を進めており、令和元年度の全道の民有林(道有林を含む)における被害面積は前年度より減少し、事業効果が現れているため、今後も継続してエゾシカ捕獲の取組を促進する必要がある。
						-	
						-	
計	0	0	0	2	0	D指標あり	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○→対応している) (△→コロナの影響)	理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	市町村、森林組合等による被害防除対策や捕獲対策が進められていること、国有林と民有林が連携し、被害発生情報の一元化、事業計画の情報共有、国・道・市町村職員の捕獲技術の向上等の取組が進められている道有林基本計画に基づいたエゾシカ被害対策の取組を着実に実施している。
基準2~4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由(新型コロナウイルス感染症の影響で取組がない場合は理由を記載)
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	エゾシカ捕獲率の向上に向け、国に対して必要な要望を実施している
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか	○	期成会等の地域からの要望を参考に、地元自治体や猟友会と連携してエゾシカ被害対策を実施している。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携や地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	国有林、民有林、試験研究機関と庁内各部が連携し、被害対策に関する会議の開催や捕獲技術の研修の実施など、関係機関と連携した取組がなされている。 また、エゾシカ森林被害対策連絡協議会の開催を通じ、情報の共有や意見交換を実施している。
判定	・基準1が「○」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ a ・基準1が「○か△」ではない、又は基準1は「○か△」だが基準2~4に1つも「○」がない→ b ・基準1が「△」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ c		a

令和2年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07 - 02
-----	---------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次政策評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<新たな取組等> ・エゾシカによる森林被害は依然として高水準であることから、関係機関と連携を図り、引き続き、林道除雪やモバイルカリングの実施、罠いワナによる捕獲などを進めるほか、複数市町村による広域的な捕獲対策等に支援する。	改善:エゾシカ森林被害防止強化対策事業費
②	<新たな取組等> ・効果的なエゾシカ捕獲を推進するため、地元自治体や猟友会などの関係機関と連携し、道有林内の林道除雪による捕獲環境の整備、罠いワナによる捕獲事業等を実施する。	

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果		1					1

次年度新規事業 (予定)
0

事務事業 整理番号	事務事業名	一次政策評価にお ける方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)
0822	エゾシカ森林被害防止強化対策事業費	改善	改善